



平成29年度

第5回 みみらんどセミナー

☆ 実施日時 ☆ 平成29年10月10日(火) 14:45~16:30

☆ テーマ ☆ 「子どもの思考を豊かにする言語活動」

☆ 講師 ☆ 東北福祉大学 教授 大西孝志 先生



思考力と発問の関係

- 質問「好きな食べ物はななに？」と
発問「サンタさんに何を願うの？」
の違い
- 経験に言葉をのせることの大切さ
- 言葉から経験を思い出すことの大切さ
- 発問によって、行動や経験、生活を言語化していく。

学習指導要領に加わった文言

障がいのある児童などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと。



授業における配慮事項

- 言語概念の形成
- 読み書きの態度・能力の育成
- 音声、文字、手話、指文字等の活用
- 補聴器、人工内耳等による聴覚の活用
- 指導内容の精選と基礎・基本の確実な定着
- 情報機器等を活用した指導

音声言語と視覚言語

どちらか一方だけでは不十分、双方が補完し合って子どもの思考力を高めることにつながる。

聴覚障がい児に対する発音指導

- ・ 発音指導は、書き言葉習得のために。
- ・ 曖昧な発音を文字と結びつける。



- 教師も発音を意識する。
- 継続的な指導で書き言葉習得へ。



☆ 発音指導なしに書き言葉習得は理論的には可能だが、より多くの入出力チャンネルがあった方がいい。

参加者の皆様からの感想

☆ 経験を言葉にのせることの大切さを知りました。保育園でも子ども達に様々な経験を言葉にのせていき、言葉や思考の成長につなげたいと思います。

☆ 経験をたくさんさせ、たくさんの言葉を伝えてあげることが大切だとわかりました。